



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クリップコーポレーション

コード番号 4705 URL <http://www.clip-cor.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 井上 憲氏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部担当兼マネージャー

(氏名) 徳野 順一

TEL 052-732-5200

四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|-------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 2,640 | △7.8 | 199 | △48.6 | 204 | △47.9 | 105 | △50.0 |
| 27年3月期第3四半期 | 2,865 | △13.7 | 387 | △26.1 | 392 | △25.7 | 210 | △31.4 |

(注)包括利益 28年3月期第3四半期 113百万円 (△50.6%) 27年3月期第3四半期 229百万円 (△25.5%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 23.51 | — |
| 27年3月期第3四半期 | 46.87 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 6,795 | 6,007 | 88.4 |
| 27年3月期 | 7,017 | 6,229 | 88.8 |

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 6,007百万円 27年3月期 6,229百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 |
| 28年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 28年3月期(予想) | | | | 50.00 | 50.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,657 | △5.5 | 414 | △28.5 | 420 | △30.3 | 239 | △30.9 | 53.39 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 上海井上憲商務諮詢有限公司、除外 1社 (社名)
(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無
(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年3月期3Q | 4,536,000 株 | 27年3月期 | 4,536,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期3Q | 150,712 株 | 27年3月期 | 50,712 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年3月期3Q | 4,473,652 株 | 27年3月期3Q | 4,485,288 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済対策や金融政策により、企業収益や雇用情勢の改善などは引き続き緩やかな回復基調が続いております。しかし、中国や新興国経済の減速懸念、大幅な原油価格の下落、暖冬や節約志向による個人消費の伸び悩み等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

学習塾業界におきましては、少子化による学齢人口の減少に伴う市場規模の縮小や個別指導学習塾の乱立等により、生徒獲得競争は益々激化しております。また、小学校における英語学習の導入が検討されるなど、教育サービス市場は急速に変化しております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、従来より積極的に進めてまいりました「体験と学習」の実践の場である理科実験授業や農業体験授業等におきまして外国人講師による英語学習を導入した新たな教育サービスの実施と並行して既存教室の生産効率の見直しを徹底し、教室の統廃合も進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高26億40百万円(前年同期比2億24百万円減)となりました。

利益面につきましては、営業利益1億99百万円(前年同期比1億88百万円減)、経常利益2億4百万円(前年同期比1億88百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億5百万円(前年同期比1億5百万円減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(教育事業)

子会社である株式会社螢雪ゼミナールを含む当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は6,195名(前年同期比4.0%減)となりました。この結果、売上高は16億73百万円(前年同期比48百万円減)となり、セグメント利益は1億23百万円(前年同期比45百万円減)となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業につきましては、当第3四半期連結累計期間の平均生徒数は12,864名(前年同期比20.7%減)となり、売上高は7億24百万円(前年同期比1億90百万円減)、セグメント利益は1億55百万円(前年同期比96百万円減)となりました。

(飲食事業)

添加物・保存料を使用しない弁当の宅配事業を展開しており、当第3四半期連結累計期間の売上高は1億78百万円(前年同期比11百万円減)、セグメント損失は31百万円(前年同期はセグメント損失32百万円)となりました。

(その他)

バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を行っており、当第3四半期連結累計期間の売上高は67百万円(前年同期比24百万円増)、セグメント損失は47百万円(前年同期はセグメント利益0.5百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は56億26百万円(前連結会計年度末比2億14百万円減)となりました。

これは主に、現金及び預金が2億14百万円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は11億69百万円(前連結会計年度末比6百万円減)となりました。

これは主に、有形固定資産が41百万円増加し、投資その他の資産が42百万円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は6億93百万円(前連結会計年度末比7百万円減)となりました。

これは主に、短期借入金が増加し、未払法人税等が52百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は93百万円(前連結会計年度末比8百万円増)となりました。

これは主に、その他(預り保証金)が5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は60億7百万円(前連結会計年度末比2億21百万円減)となりました。

これは主に、配当金の支払い等により利益剰余金が1億48百万円減少したことと、自己株式の取得により純資産合計が1億6百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月30日付で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しておりません。

「参考」個別業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年10月30日付で公表いたしました通期の個別業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において非連結子会社であった上海井上憲商務諮詢有限公司は、重要性が増したことから第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において非連結子会社であった住源房地產經紀(上海)有限公司も、重要性が増したことから第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めておりません。

また、当第3四半期連結会計期間において株式会社日本体験センターを新規設立し、当社の連結子会社といたしました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,596,328 | 5,382,180 |
| 受取手形及び売掛金 | 16,267 | 11,959 |
| 商品及び製品 | 103,904 | 92,188 |
| 原材料及び貯蔵品 | 13,162 | 19,591 |
| その他 | 111,353 | 120,329 |
| 流動資産合計 | 5,841,015 | 5,626,249 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 363,853 | 405,424 |
| 無形固定資産 | 51,838 | 46,590 |
| 投資その他の資産 | 760,332 | 717,577 |
| 固定資産合計 | 1,176,024 | 1,169,592 |
| 資産合計 | 7,017,040 | 6,795,842 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 29,430 | 27,539 |
| 短期借入金 | 250,000 | 310,000 |
| 未払法人税等 | 52,657 | 143 |
| 賞与引当金 | 62,361 | 55,088 |
| 資産除去債務 | 257 | — |
| 店舗閉鎖損失引当金 | 3,250 | 3,250 |
| その他 | 303,726 | 297,950 |
| 流動負債合計 | 701,682 | 693,972 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 63,612 | 63,810 |
| 資産除去債務 | 14,005 | 16,982 |
| その他 | 7,984 | 13,094 |
| 固定負債合計 | 85,601 | 93,887 |
| 負債合計 | 787,284 | 787,859 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 212,700 | 212,700 |
| 資本剰余金 | 29,700 | 29,700 |
| 利益剰余金 | 5,970,896 | 5,821,902 |
| 自己株式 | △37,253 | △143,953 |
| 株主資本合計 | 6,176,042 | 5,920,348 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 53,712 | 63,153 |
| 為替換算調整勘定 | — | 24,481 |
| その他の包括利益累計額合計 | 53,712 | 87,634 |
| 純資産合計 | 6,229,755 | 6,007,982 |
| 負債純資産合計 | 7,017,040 | 6,795,842 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 2,865,147 | 2,640,759 |
| 売上原価 | 1,737,408 | 1,713,249 |
| 売上総利益 | 1,127,739 | 927,509 |
| 販売費及び一般管理費 | 739,793 | 728,042 |
| 営業利益 | 387,946 | 199,467 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,423 | 1,425 |
| 受取配当金 | 2,721 | 3,053 |
| その他 | 3,432 | 4,045 |
| 営業外収益合計 | 7,577 | 8,524 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,732 | 2,710 |
| その他 | 59 | 672 |
| 営業外費用合計 | 2,791 | 3,382 |
| 経常利益 | 392,731 | 204,608 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 111 |
| 違約金収入 | 12,900 | — |
| 特別利益合計 | 12,900 | 111 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 21,224 | 2,170 |
| 固定資産除却損 | 8,069 | 2,221 |
| 減損損失 | — | 3,460 |
| 店舗閉鎖損失引当金繰入額 | — | 3,250 |
| 特別損失合計 | 29,293 | 11,101 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 376,337 | 193,619 |
| 法人税等 | 166,122 | 88,449 |
| 四半期純利益 | 210,215 | 105,169 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 210,215 | 105,169 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 210,215 | 105,169 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 19,665 | 9,440 |
| 為替換算調整勘定 | — | △946 |
| その他の包括利益合計 | 19,665 | 8,494 |
| 四半期包括利益 | 229,881 | 113,663 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 229,881 | 113,663 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 (千円) | 合計 (千円) | 調整額 (注)2 (千円) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円) |
|---------------------------|--------------|----------------|--------------|-----------|---------------------|------------|---------------------|-----------------------------------|
| | 教育事業 (千円) | スポーツ事業 (千円) | 飲食事業 (千円) | 計 (千円) | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客に 対する売上高 | 1,722,402 | 915,563 | 189,545 | 2,827,511 | 37,636 | 2,865,147 | — | 2,865,147 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | 5,486 | 5,486 | △5,486 | — |
| 計 | 1,722,402 | 915,563 | 189,545 | 2,827,511 | 43,123 | 2,870,634 | △5,486 | 2,865,147 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 168,866 | 251,244 | △32,673 | 387,436 | 509 | 387,946 | — | 387,946 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業及び農業事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

| | 報告セグメント | | | | その他 (注)1 (千円) | 合計 (千円) | 調整額 (注)2 (千円) | 四半期連結損益 計算書計上額 (注)3 (千円) |
|---------------------------|--------------|----------------|--------------|-----------|---------------------|------------|---------------------|-----------------------------------|
| | 教育事業 (千円) | スポーツ事業 (千円) | 飲食事業 (千円) | 計 (千円) | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客に 対する売上高 | 1,673,757 | 724,907 | 178,410 | 2,577,074 | 63,684 | 2,640,759 | — | 2,640,759 |
| セグメント間の 内部売上高又は 振替高 | — | — | — | — | 4,175 | 4,175 | △4,175 | — |
| 計 | 1,673,757 | 724,907 | 178,410 | 2,577,074 | 67,860 | 2,644,935 | △4,175 | 2,640,759 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 123,137 | 155,164 | △31,443 | 246,858 | △47,391 | 199,467 | — | 199,467 |

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バスケット教室事業・農業事業及び焼肉店事業等を含んでおります。

2. 調整額はセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。